

サステナビリティ経営の取組み

サステナビリティ基本方針等の制定

当行では、2019年3月に「武蔵野銀行SDGs宣言」を制定・公表し、2021年9月には「サステナビリティ推進委員会」を設置するとともに、TCFD提言への賛同を行うなど、サステナビリティ経営推進に向けた態勢整備を行い、本業を通じた持続可能な地域づくりや役職員の理解向上などに取組んでまいりました。

2021年12月に制定した4つの方針のもと、気候変動や人権といったグローバルな課題や国内外の金融経済における脱炭素の動きに対応するとともに、より実効性のあるサステナビリティ経営の実践を目指してまいります。

サステナビリティへの取組みやTCFD提言に基づく対応については、今後も本誌やホームページなどを通じて、ステークホルダーの皆さまにお伝えしてまいります。

名称	要旨
サステナビリティ基本方針	当行の経営理念「地域共存」「顧客尊重」に基づき、地域活性化を実現し、中長期的な視点で経済価値と社会価値の両立を目指します。
環境方針	気候変動や脱炭素、生物多様性といった諸課題について、地球規模の視点を踏まえつつ、地元埼玉の地域特性も考慮し、事業活動を通じた取組みを全従業員で行います。
投融资方針	環境、社会、経済の持続可能性に対し、ネガティブな影響を及ぼす産業・企業セクターへの投融资を回避します。
人権方針	あらゆる事業活動や商品・サービス提供において、関わる全てのステークホルダーの人権や多様性を尊重します。

※各方針の全文はホームページをご覧ください

<http://www.musashinobank.co.jp/company/sustainability>

サステナビリティ推進態勢

サステナビリティ推進態勢を強化し、諸課題の解決に向け取組んでいます。



責任者からのメッセージ



総合企画部
サステナビリティ推進室
室長 高倉 啓

武蔵野銀行グループでは、創業以来の「地域共存」「顧客尊重」という経営理念のもと、全てのステークホルダーの皆さまとともに持続可能な地域経済・社会の実現に向け取組んでいます。

2019年には「武蔵野銀行SDGs宣言」を制定し、地域金融機関として重点的に取り組むべき領域を明確にしたほか、2021年12月には日々変化する国内外の動きに対応すべく、サステナビリティ基本方針を含む4方針を制定・公表いたしました。

推進態勢の強化にも積極的に取組んでおり、2021年9月に設置した「サステナビリティ推進委員会」では、委員長を務める頭取をはじめとした経営陣が、サステナビリティに関する課題と解決に向けた取組みについて適切な関与を行っております。

そして、2022年3月には武蔵野銀行グループにおける横断的取組みの統括・推進を担う部署として「サステナビリティ推進室」が設置されました。

同室は6名のメンバーを擁し、地域経済および社会の活性化、環境やダイバーシティなどをテーマに、スピード感ある取組みを展開しております。

サステナビリティについては、今後益々重要性が高まっていくと考えております。現在行っている取組みの加速は勿論ですが、新たな取組みの実践や行員一人ひとりの意識・行動の変革などにも注力してまいります。

お客さまのサステナビリティを後押しする取組み

地元企業の皆さまのサステナビリティ経営を後押しするため、1社1社の取組み状況などに応じた多様なファイナンスおよびコンサルティング商品のラインナップを揃えています。

コンサルティングによる支援強化

SDGs診断サポート

SDGsとその取組状況を見える化する「SDGs診断」を実施

脱炭素コンサルティング

・CO₂排出量などを算定
・CO₂削減計画策定を支援

SDGsコンサルティング

SDGsの取組状況に応じたオーダーメイドのコンサルティングを実施

融資商品の拡充

SDGs私募債

私募債発行手数料の一部をSDGs達成に資する団体等に寄付

SDGsフレンズローン

・「SDGsチェックシート」を活用し、SDGsと経営課題を見える化
・情報発信や他社との交流等をサポート

サステナビリティ・リンク・ローン

サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SDGsなどに関連する事業挑戦目標)の達成状況に応じ、金利条件が変動

サステナビリティ・フレームワーク・ローン

手続き面などで、サステナビリティ・リンク・ローンをご利用しやすくした商品設計

取組みの全体像

当行では、環境(Environment)・社会(Social)・企業統治(Governance)という「ESG」の視点を、銀行経営に積極的に採り入れ、持続可能性(サステナビリティ)に配慮した取組みに注力しています。こうした取組みの更なる深化と、一層の地域への貢献を目指し制定した、「武蔵野銀行SDGs宣言」のもと、今後もステークホルダーの皆さまと手を携えながら持続可能な地域社会の実現に向け取組みます。

武蔵野銀行
SDGs宣言



武蔵野銀行はSDGs(国連「持続可能な開発目標」)の目標達成に貢献するため、グループ全役員が取組むことを宣言します。

長期ビジョン

埼玉に新たな価値を創造する

『地域No.1銀行』～Value-making Bank～

対応する
SDGsの項目



目指すべき姿
(重点領域)

持続的成長の源泉としての企業統治

企業統治を持続的成長の源泉と位置づけ、創業以来不変の経営理念に基づく確固たる銀行経営を志向します。

持続可能な地域経済

地元産業のイノベーションや地産地消の促進、快適かつ強靱なまちづくりに貢献し、持続可能な経済成長を実現します。

いつまでも自分らしく暮らせる地域社会

全ての人々が自分らしく、健康で幸福に生活できる社会をつくるため、積極的な取組みを行います。

気候変動への対応と生物多様性の維持向上

地球規模の気候変動に対応するとともに、地域の豊かな生物多様性の維持向上に取組みます。

主な取組み

役員一覧	P48
コーポレート・ガバナンス体制	P51
内部統制システムの整備の状況	P55
リスク管理体制	P55
コンプライアンス体制	P58
顧客保護等管理体制	P59

地域密着型金融の推進	P32	地方公共団体等との連携・協働	P37
・中小企業の経営支援に関する取組み	P32	地方公共団体との取引推進	P37
・創業期・成長期における具体的な取組み	P33	地域活性コンソーシアム	P37
・変革期における具体的な取組み	P35	地域課題解決に向けて	P38
・地域密着型金融の取組実績	P36	成長分野への取組み	P39
地域の活性化に関する取組み	P37	産学官連携を通じた支援	P39
・地方創生に向けた推進態勢	P37	新たな産業の創出へ	P39

お客さま本位の業務運営の実践	P40	人的資本に対する考え方	P44
いつもお客さまのそばに	P41	人的資本の強化	P44
皆さまの一生涯の良きパートナーとして	P42	多様な人材が活躍できる職場へ	P46
		働き方改革	P47

武蔵野銀行の持続可能な環境への考え方	P24
本業を通じた環境保全への取組み	P25
企業活動を通じた環境負荷の低減	P25
TCFD提言への取組み	P27
生物多様性への対応	P30

ESG

G：企業統治

S：社会

S：社会

E：環境